

発行所

株式会社FPシミュレーション

大阪市中央区平野町3-1-10 Tel :06-6209-7678

編集発行人：税理士 三輪 厚二 Fax:06-6209-8145

税務調査は横断的に

Q：税務調査のスタイルが改められると聞いたのですが、どのような調査になるのでしょうか。

A：これまでの税務調査は税目ごとに縦割りで行われていましたが、今後は税目の枠を超えて横断的な調査に移行されます。

【解説】

税務調査の横断的なチェック体制への移行は、全国税局課税部長会議のなかで取り上げられたものです。

従来であれば、法人は法人、個人は個人という縦割りに加え、局ごとに所轄地域が区別されていましたが、こうした垣根を取り払い、税目や地域を越えて横断的な連携調査をしていく方針が確認されました。

税目による縦割りでは、どうしても税目や課がぶつかる重複事案や、どちらも手を出さないエアポケットが発生しやすくなります。

これらの解消策の1つとして、「資料情報特官」が増設されます。この特官は、経済取引情報を収集することが任務で、その収集範囲は全税目にまたがります。

となると、これらの情報を入手して行われる実地調査も税目にこだわらない体制が敷かれることとなります。

税目を横断する事案が増加するなか、税の取りこぼしへのチェックを強化し、調査体制の見直しが進められているようです。

